

北九州市の水素の取組について

「北九州市グリーン成長戦略」（令和4年2月策定）において、本市では、産業・運輸部門における電化が困難な分野の脱炭素化に水素を利活用する「水素供給・利活用拠点都市」の形成を目指すこととしている。

水素については、発展途上のエネルギー源・技術であるため、大半の既存燃料と比べてコストが高い状況。このため、本市では、水素技術の社会実装に向けて、企業等と連携した実証事業や市内水素を活用したマッチング支援等の取組を推進。

1 【東田地区】水素パイプラインを活用した技術実証

まちなかを走る1.2kmの水素パイプラインを活用した水素関連の技術実証を支援している。



◆水素パイプラインを活用した技術実証

- ・水素ガス不純物分析計
- ・燃料電池
- ・超音波式水素ガスメーター
- ・水素用ステンレス配管システム耐久性等 9件の技術実証を実施

2 【響灘地区】CO₂フリー水素製造・供給実証（環境省実証事業）

響灘地区に集積する太陽光発電や風力発電、市内のごみ発電（バイオマス）などの複数の再生可能エネルギーを有効活用し、CO₂を発生させずに水素を「つくり」、県内各地に「はこび」、「つかう」実証を実施。CO₂フリー水素の低コストなサプライチェーンモデルの構築を目指す。

名称：地域の再エネを有効活用したCO₂フリー水素製造・供給事業

期間：令和2～4年度

実施者：(株)北九州パワー（代表事業者）、(株)IHI、福岡酸素(株)、ENEOS(株)

